

道路づくりで活気溢れる “ふるさと島根”を創造



山陰道の整備促進 開通目標の確実な達成

- ・ 県内整備率 R 3 ; 約 6 4 % ⇒ R 7 ; 約 8 3 % 目標



「山陰道の見える化」： 工事進捗状況の発信

- ・ 現場見学会、式典の実施やSNSを通じて、積極的に発信



「ICT活用 全国トップランナーへ」

- ・ 山陰道の関連工事から管理系工事への展開
- ・ 自治体発注工事への普及



働く環境改善「週休2日宣言 山陰道」

- ・ 建設業界と一体となった担い手確保、環境整備の取組

山陰道の整備状況（島根県内）

- 令和7年度までに、島根県内で5区間開通を目標として、整備を推進中
(整備率R3;約64% ⇒ R7;約83%予定)

【E9】山陰道(全区間L=約180km 島根県内)



E9

山陰道の整備状況 (R4.4現在)



区間	静間・仁摩道路	大田・静間道路	朝山・大田道路	多伎・朝山道路	湖陵・多伎道路	出雲・湖陵道路
項目						
区間延長	7.9km	5.0km	6.3km	9.0km	4.5km	4.4km
事業化年度	H20年度	H24年度	H19年度	H18年度	H24年度	H20年度
開通年度 (目標公表)	R5年度(予定)	R5年度(予定)	H30.3.18	H31.3.17	R6年度(予定)	R6年度(予定)
事業進捗率 (R4.3末)	約83%	約71%	—	—	約79%	約74%
用地進捗率 (R4.3末)	100%	100%	—	—	100%	100%
全体事業費	約484億円	約360億円	—	—	約259億円	約363億円
R4事業費	約33億円	約47億円	—	—	約18億円	約33億円
R4年度 事業概要	改良、橋梁、舗装、 付属物工事推進	改良、橋梁、舗装、 付属物工事推進	—	—	改良、橋梁工事推進	改良、橋梁工事推進

平成24年度に事業着手、令和6年度に開通予定（トンネル工事、大規模橋梁工事、大規模法面対策工事が順調に進捗した場合）
令和4年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工を推進

事業箇所図



至松江

状況写真 R4年2月時点



くむら 久村地区



にぶ 二部地区



こりょう 湖陵IC(仮称)



こりょう 湖陵IC(仮称)付近から西を望む

平成24年度に事業着手、令和5年度に開通予定

令和4年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工、舗装工、付属物を推進

事業箇所図



状況写真

R4年2月時点



E9

山陰道 静間・仁摩道路 令和5年度開通予定

しずま にま

平成20年度に事業着手、令和5年度に開通予定
令和4年度は、調査設計、用地補償、改良工、橋梁上部工、舗装工、付属物を推進

事業箇所図



状況写真 R4年2月時点



E9 山陰道の見える化(工事状況の発信)

- 山陰道の工事進捗状況を現場見学会やSNS等を通じて発信
- 令和3年度は現場見学会21回実施、延べ約660人が参加



事務所ロビーに進捗パネル掲示(毎月更新)

区間	244E1 (4)	245E1 (4)	2461E1 (4)	2471E1 (4)	2481E1 (4)	2491E1 (4)	2501E1 (4)
作業内容	・路床盛上 (アスファルト舗装) (土留め工事)						
作業時期	8/20~11/20	8/20~11/20	8/20~11/20	8/20~11/20	8/20~11/20	8/20~11/20	8/20~11/20

◆現場からの報告◆
 本日は現場見学会と、松江式土留め工事を行いました。
 2日1日(14日)は大雨のため作業が中止となりました。スタッフも大変お疲れです。
 現場では土留め工事の進捗が順調に進んでいます。引き続き安全確保を徹底して作業していきます。
 現場写真や動画は、松江式土留め工事の進捗状況が一目でわかります。

地元説明用チラシ(工事毎に配布)

E9 まっこく DXの取り組み

- 3次元CADソフト操作説明会、VR・ARを活用した建設DX技術体験会を開催し、職員の技術力向上を図る。(約40名が参加)
- 今後、3次元データを事業説明や各種協議、維持管理への活用を検討していく

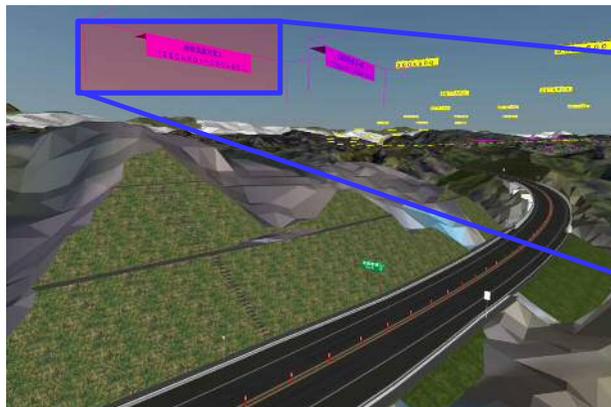
＜3次元CAD操作説明会＞



＜建設DX技術体験会＞



＜山陰道3次元データの維持管理への活用イメージ＞



※施工時の被災歴等の情報を紐付け、今後の維持管理に活用。

1現地状況

崩壊は、切土法肩を頭部とし、2段目小段に抜ける形で発生している。現地の地質を確認すると、新第三紀中新世の細粒砂岩が分布し、頭部の滑り層は、完全に土砂化した崩壊土若しくは強風化土となっているが、末端部は岩組織を残している。

<p>写真1 頭部滑り層 1.5m程度の段差が生じている</p>	<p>写真2 崩壊末端部、2段目小段に押し出している</p>
<p>写真3 頭部滑り層後の地質状況 岩組織は不明瞭で崩壊土若しくは強風化土となっている</p>	<p>写真4 末端部の地質状況 岩組織が残っており、DM級岩盤となる</p>

E9 建設業の働き方改革 「週休2日宣言 山陰道」

- 山陰道の全85工事で週休2日を宣言し、受・発注者一体で働き方改革に取り組む
- 快適トイレの設置数を104工事に増やす等、建設現場において働きやすい職場環境づくりに取り組む



↑ 山陰道週休2日宣言チラシ
建設現場に設置された快適トイレ →

E9 山陰道の整備効果(災害等による影響の軽減)

○令和3年8月の大雨により国道9号で地すべりが発生したことから、国道9号(出雲市多伎町小田)において全面通行止めを実施。
○国道9号に並行して整備した山陰道(多伎・朝山道路)が迂回路として有効に機能し、地域の生活・物流等の経済活動確保に大きな効果を発揮。

国道9号の全面通行止めによる迂回状況

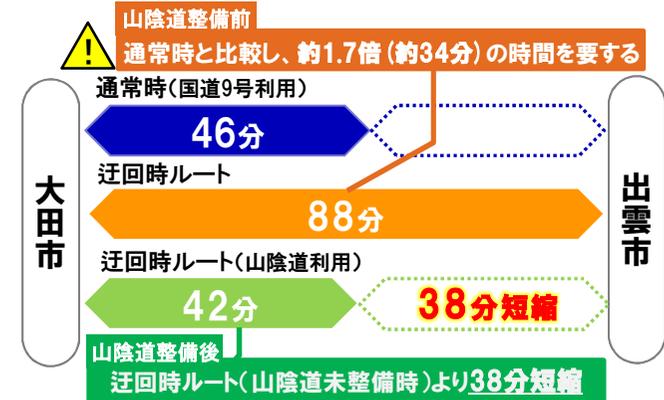


令和3年8月の大雨による地すべり

令和3年8月、大雨により、一般国道9号(出雲市多伎町内)で地すべりが発生。全面通行止めが発生し迂回が必要となった。



山陰道整備前後での出雲～大田間の迂回時間



※平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出。上記調査以降に開通した山陰道と未開通の山陰道は70km/hとして算出。迂回路については大型車が通行可能なルートを選定
○出雲～大田間: 渡橋北交差点(出雲)～和江漁港入口交差点(大田)

<道路利用者の声>



9号が通れなくなり、以前だったら遠回りして時間がかかっていたが、今は山陰道があるから遠回りせず
に助かった。(R3.9 出雲市へのヒアリング結果)

E9 山陰道の整備効果(観光振興)

● 出雲空港からの60分圏域の拡大。周遊観光の促進

出雲空港60分カバー圏域

- 現況カバー圏
- 山陰道(出雲～多伎、大田～仁摩)整備による拡大エリア

※平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出
※山陰道(出雲～仁摩間)は70km/hとして算出

- 凡例
- 高規格幹線道路
 - 高規格幹線道路(事業中)
 - 高規格幹線道路(計画路線)
 - 直轄国道
 - 補助国道
 - 県境
 - 市境
 - 観光地

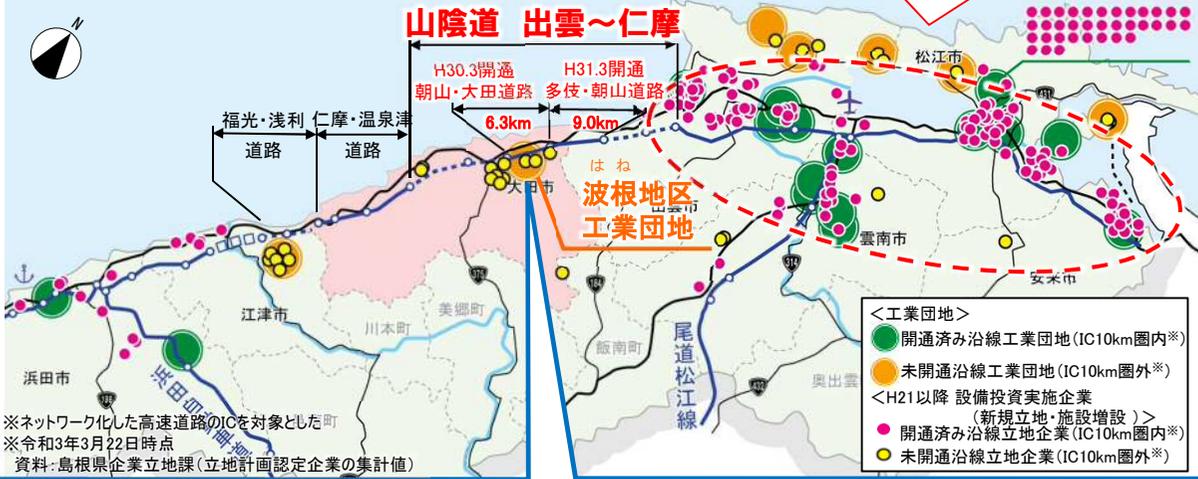


E9 山陰道の整備効果(地域経済の支援)

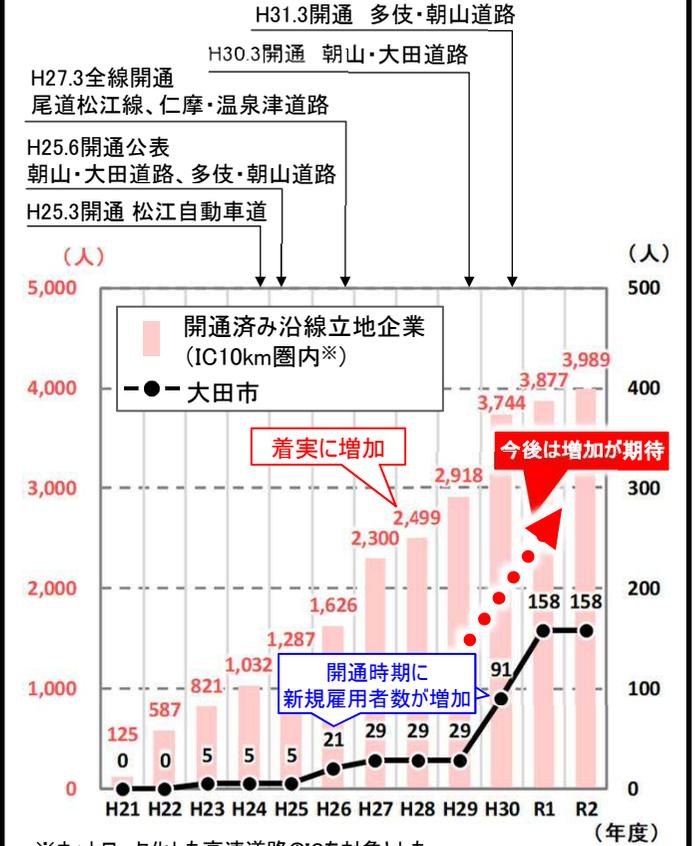
地域経済を支える企業進出支援(新規立地企業誘致の支援)

- 高速ネットワークの開通済区間沿線では企業による設備投資が行われ、新規雇用者数も着実に増加傾向。
- 大田市では、平成25年まで新規雇用者数が伸び悩んでいたが、平成25年6月の朝山・大田道路及び多伎・朝山道路の開通公表以降、増加に転じ、開通後に更に増加した。
- 出雲～仁摩間の残り区間の開通で山陰道が繋がることにより、更なる企業進出、新規雇用者数の増加が期待される。

山陰道・尾道松江線沿線における設備投資実施企業



山陰道・尾道松江線沿線における新規雇用者数の推移(累積)



開通済区間沿線における工業団地の分譲状況



＜地域の声＞

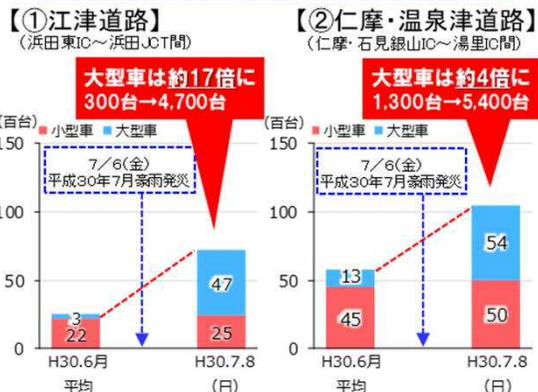
- ・企業が新たな拠点進出を検討する際に、物流の利便性を求める傾向があり、高速道路が近いことが重要視されている。
 - ・山陰道の整備により、東西の交通の利便性が向上され、**新たな企業が当市内へのさらなる進出だけでなく、市内企業の事業拡大による雇用人数の増加も期待される。**
- (R3.6 大田市産業企画課へのヒアリング結果)



E9 山陰道の整備効果(ダブルネットワークによる効果)

- 平成30年7月豪雨災害時に山陽道・中国道が通行止めとなり、広域交通が**山陰道・国道9号を迂回路として使用**。
- 国道9号では、交通量が増加し、速度低下も発生したが、**山陰道整備済み(ミッシングリンク解消)区間では、ダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性が確保された**。

山陰道の交通量の比較

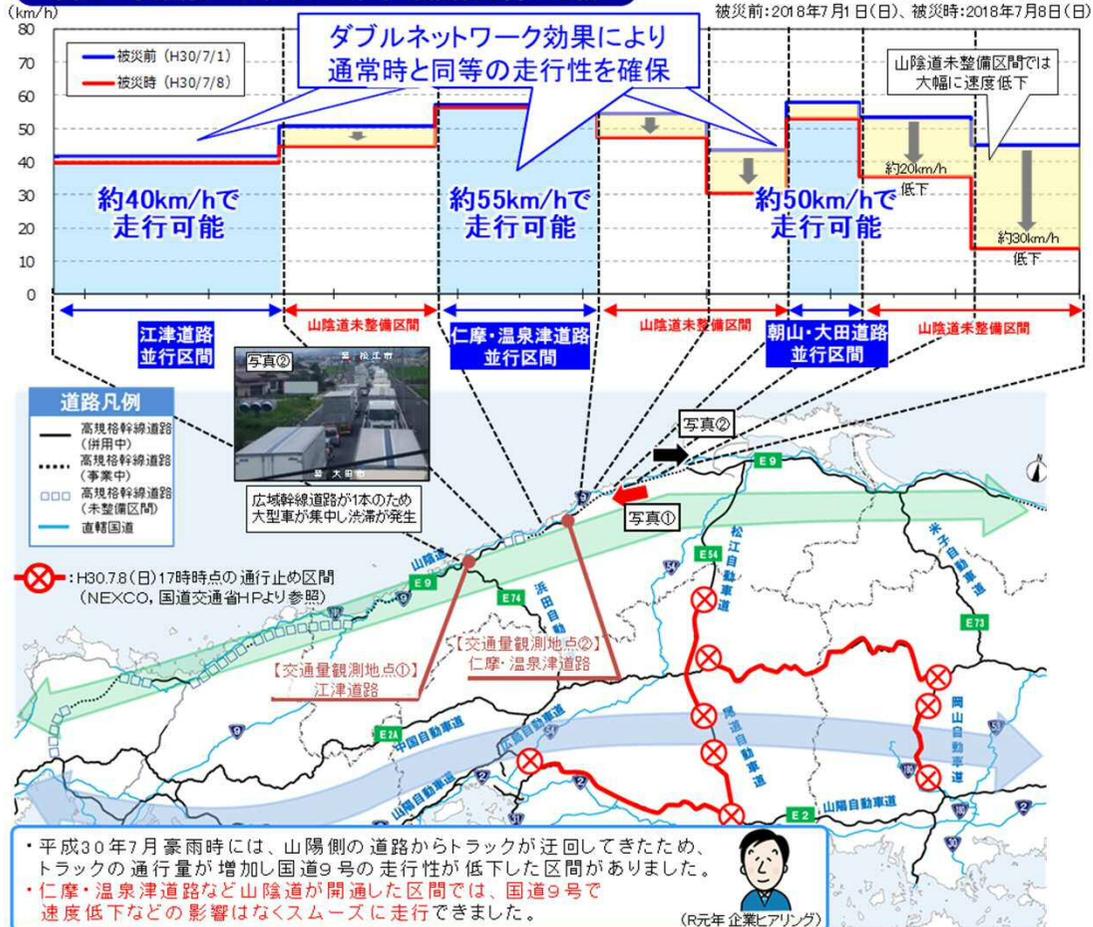


山陰道の状況(H30.7.8(日))



山陰道の整備によるダブルネットワーク効果により通常時と同等の走行性を確保

国道9号(出雲～浜田)の上下平均旅行速度の比較



[参考]災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築

暫定2車線区間の4車線化

○中国地方では、有料暫定2車線区間 約196kmのうち、約55kmを事業化。

■島根県の状況

優先整備区間 約66km
事業化延長 約18km



4車線化未事業化区間

財政投融资を活用した4車線化等箇所 (H31年度~R3年度) 7箇所: 約38.9km

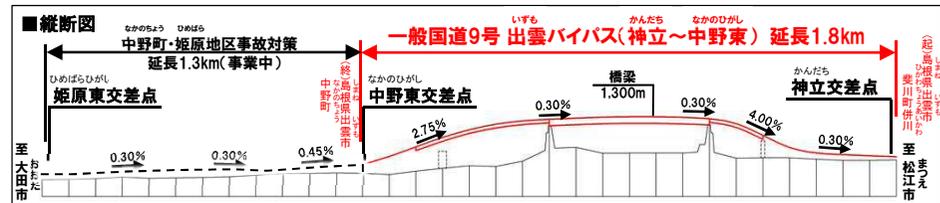
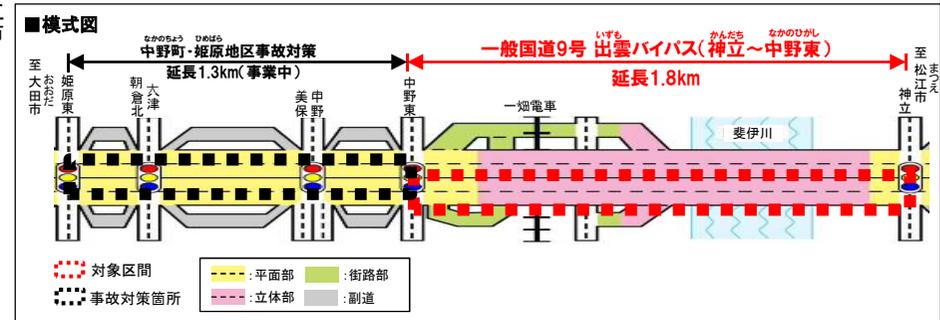
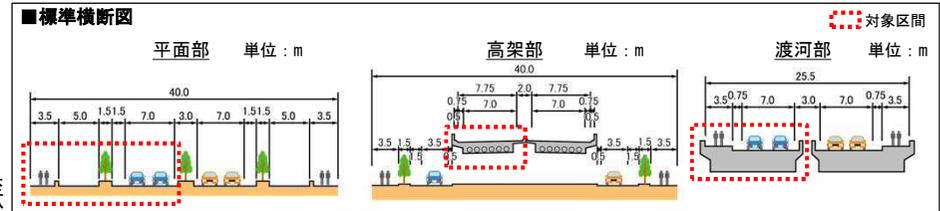
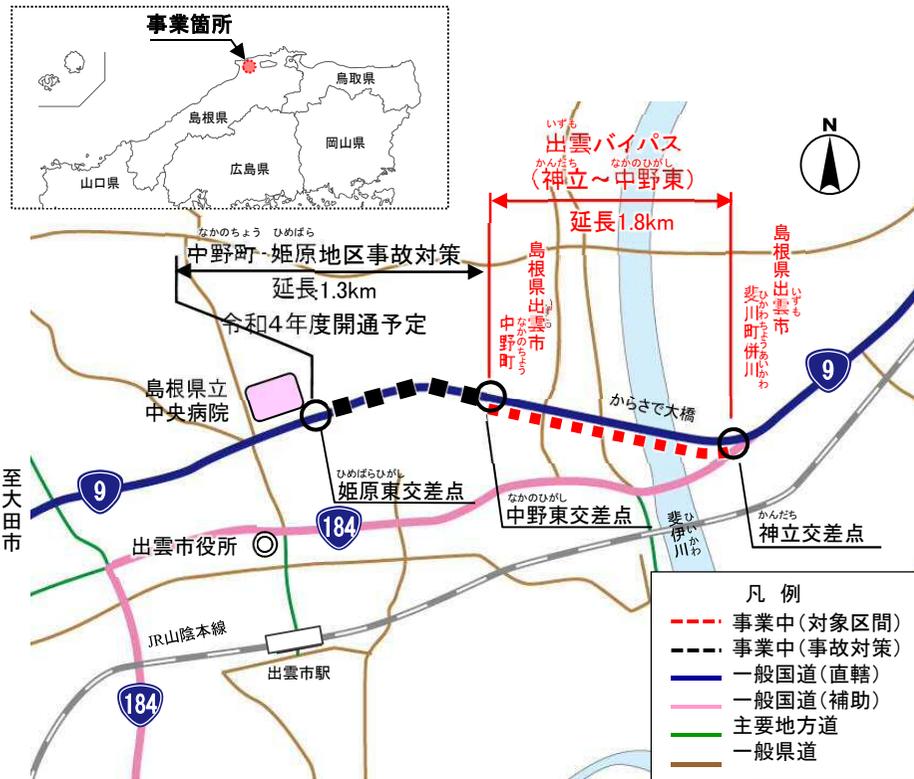
財政投融资を活用した4車線化等箇所 (R4年度) 2箇所: 約16.0km

凡例	
供用中	6車線 (有料) / 4車線 (有料) / 4車線 (無料) / 暫定2車線 (有料) / 暫定2車線 (無料)
事業中	4車線以上 (有料) / 暫定2車線 (有料) / 暫定2車線 (無料)
調査中	□□□□□□

※R4.4.1時点

一般国道9号 出雲バイパス4車線化 (R4新規)

出雲市街地中心部に位置する当該区間では、著しい交通混雑が発生し、地域産業活動や救急医療活動等に支障をきたしています。
出雲バイパス(神立～中野東)事業は、交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長1.8kmの道路です。



▲中野東交差点付近の渋滞状況(朝ピーク)



▲からさで大橋起点付近の渋滞状況(朝ピーク)



▲物流車両の通行阻害状況

一般国道54号 三刀屋拡幅事業

事業概要

雲南市三刀屋町地内は中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。

令和4年度は、雲南市三刀屋町三刀屋において用地買収、道路設計、整備工事を推進します。

事業箇所図



状況写真



上空より里熊大橋周辺を望む



里熊大橋 広島方面を望む



県道の通学状況

令和4年度 交通安全事業・電線共同溝事業

交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における交通事故対策や、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる道路空間の確保を目的として交通安全事業を進めています。

令和4年度は、12箇所において、調査設計、用地買収、用地補償、工事を推進します。



【大田市温泉津町福光】
一般国道9号 福光交差点改良

電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の保全、台風や地震時に電柱等の倒壊による道路の寸断を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的として、電線共同溝事業を進めています。

令和4年度は、5箇所において、調査設計、本体工事、引込管路工事、連系管路工事、連系設備補償を推進します。



【現況】



【整備後イメージ】

一般国道9号 安来電線共同溝

R4 : 交通安全事業 521百万円
(当初) 電線共同溝事業 189百万円



— 電線共同溝事業 5箇所
— 交通安全事業 12箇所

一般国道9号 中野町・姫原地区事故対策事業

なかのちょう ひめばら

事業概要

当該箇所は、出雲市中心部で沿線には多くの商業施設や住宅があり交通量が多い地区である。交通量が2万台/日超と多い中、信号交差点が連続していることから滞留した車両への追突事故が多発している。また、右折車線相互が正対化していないため、対向車への視認性が不足し、無理な右折行動による対向車との事故が発生している。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、付加車線設置による滞留長を低減する対策や、右折車線の正対化による対向車の視認性の向上を図り交通事故の解消を図るものである。

令和4年度は、調査設計・工事を実施する予定である。



状況写真

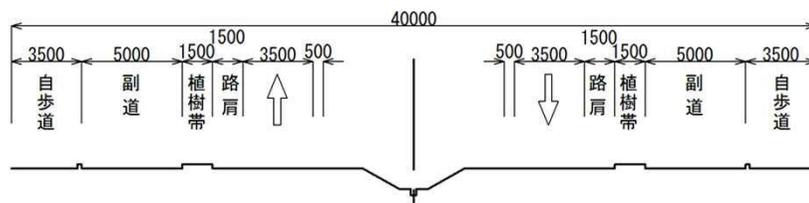


事業箇所図

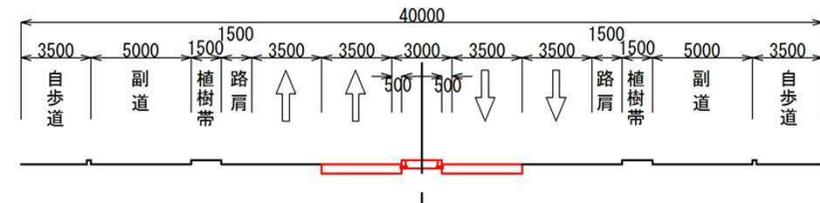


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 中野町・姫原地区事故対策事業

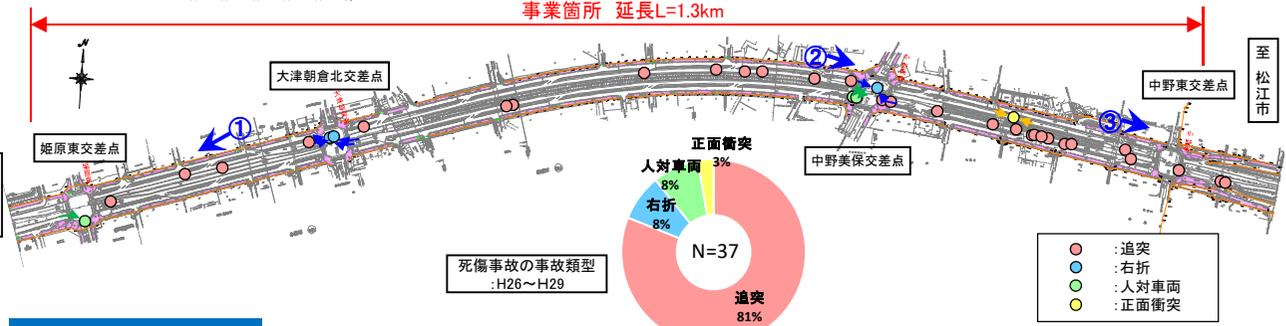
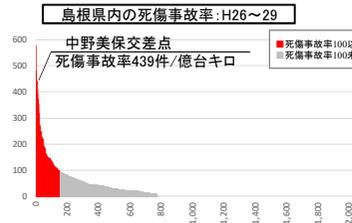
○当該箇所は、出雲市中心部で、沿線には多くの商業施設や住宅があり交通量の多い地区である。
 ○交通量が2万台/日超と多い中、2車線道路のうえ信号交差点が連続していることなどから、滞留した車両への追突事故が多発している。
 ○また、右折車線相互が正対化していないため対向車への視認性が不足し、無理な右折行動による対向車との事故が発生している。
 ○当該事業は、付加車線設置による滞留長を低減する対策や、右折車線の正対化による対向車の視認性を向上させる対策を行い、安全性を確保する事業である。

1. 事業概要

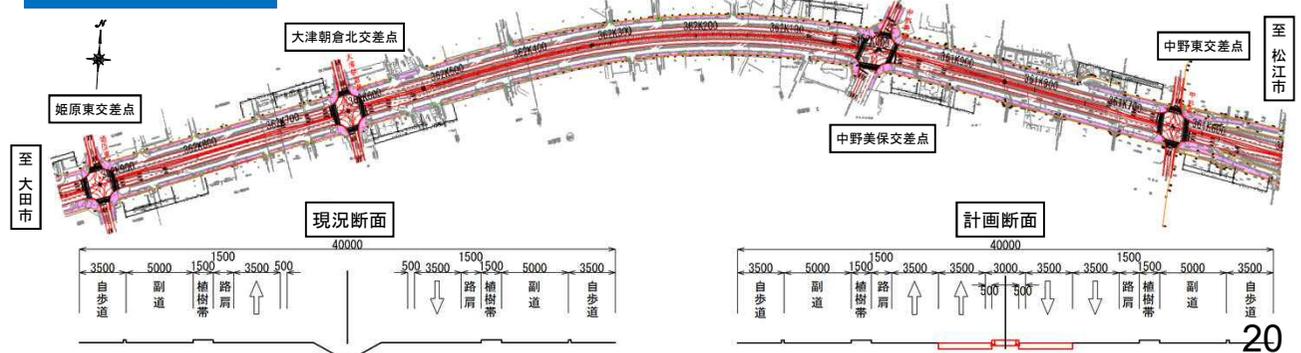
所在地： 島根県出雲市中野町～姫原
 事業量： 延長1.3km
 R4当初： 2.61億円
 交通量： 22,869台/日 (H27センサスより)
 死傷事故率： 438.76件/億台キロ (H26-H29イタルデータより)



2. 現況



3. 対策内容



一般国道9号 福光交差点改良事業

ふくみつ

事業概要

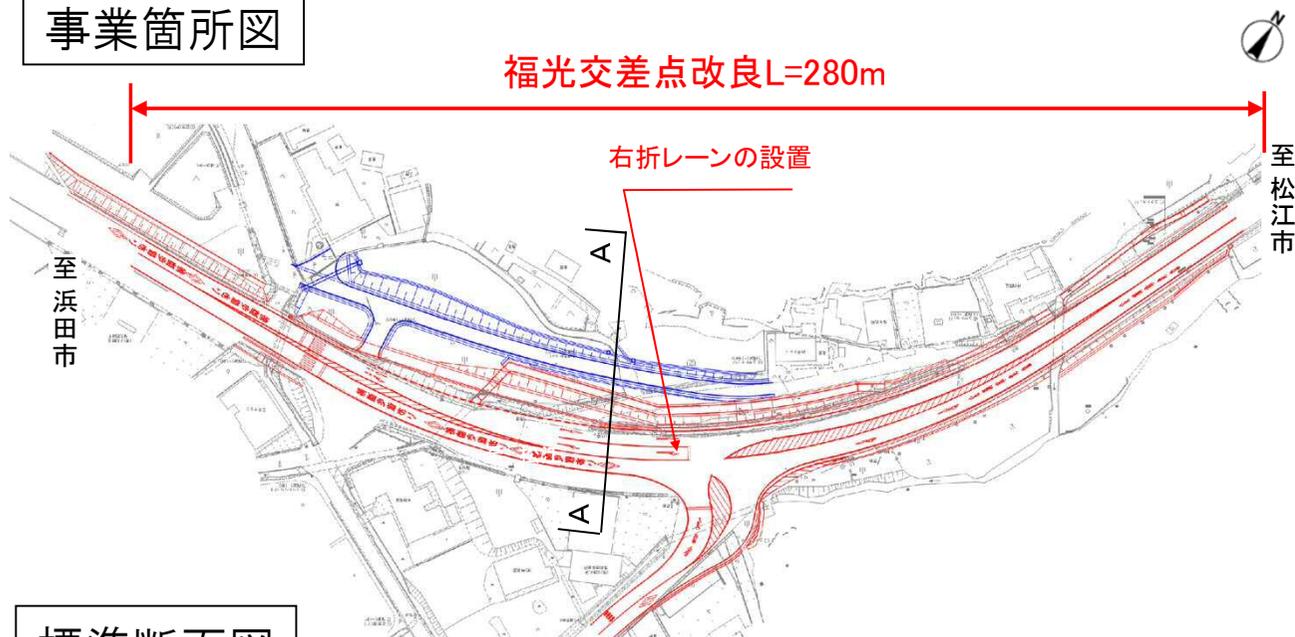
当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生している。このため、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突事故が発生する危険な状態となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線の設置により、追突事故の解消を図るものである。

令和4年度は、調査設計及び用地買収を実施する予定である。



事業箇所図

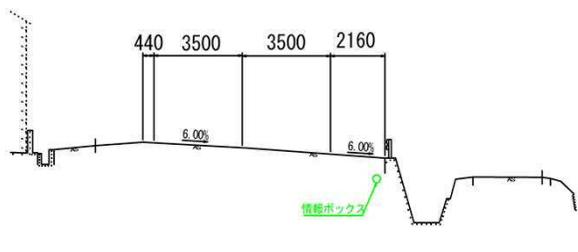


状況写真

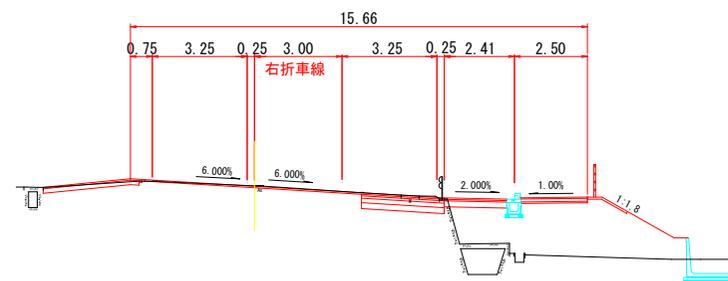


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 やすぎ 安来電線共同溝事業

事業概要

本事業箇所は、商業施設等が立ち並ぶ安来市の商業地域に位置するとともに、安来駅を中心としたあんしん歩行エリアに指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時等における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

令和4年度は、調査設計・本体工事・引込管路工事・連系管路工事・連系設備補償を実施する予定である。



事業箇所図



状況写真



《整備の必要性(イメージ写真)》

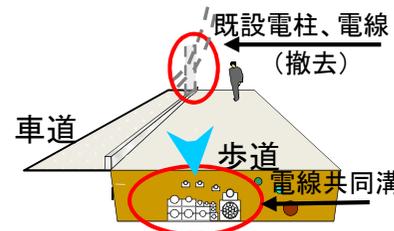
○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



標準断面図



《イメージ図》



・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めへの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。